

《学習のねらい》

身の回りに起きている環境問題と、その問題の対策を知ること、これからの生活習慣を考える。

《学習の流れ》

実施時期 7月 ~ 9月

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1 1時間	事前学習 学習発表会にむけての流れと“環境”をテーマにイメージマップを作成した。	■環境にまつわるキーワードを 考えることで環境問題のつながり を見出し、現在の環境問題に ついて関心を持たせる。
2 4時間	すいた環境学習協会の方を招いた講義 次の4つのテーマに沿った講義に参加した。 ・水資源（琵琶湖の水） ・「ごみ」この大切な資源 ・地球温暖化 ・私たちと食糧	■水資源は実際に身の回りの川 や池の水質調査を行うため、水 道などが近くにある教室（理科 室など）を利用した。 ■授業はクラスごとに行った。
3 2時間	竹工作（竹林の再利用） 吹田に多くある竹林を材料に 竹工作を行った。	■講師の方から提案された7つ の作品の中から、自分が作りた いものを事前調査した。
4 6時間	グループに分かれての調べ学習 学年を6つのグループに分け、次のテーマに沿った内 容で調べ学習をし、学習発表会に向けて新聞を作成し た。 ① 水資源について ② 吹田市のごみ事情 ③リサイクル ④地球温暖化 ⑤私たちと食糧 ⑥エコクッキング	■他クラスとの交流も考え、事 前にアンケートをとり、グルー プを作った。1グループから更 に5班に分かれ各テーマに沿 った内容で調べ学習に取り組み させた。調べる内容を話し合わ せ、夏休みの宿題として提出さ せた。
5 1時間	学習発表会にて発表 各グループのリーダーは舞台上5分間パワーポイン トを使った発表をし、昼休みには各グループの代表班 によるパワーポイントを使った発表を教室で行った。	■リーダーは昼休みや放課後 を利用して、準備を行った。 代表班は調べ学習の時間に新聞 の代わりにパワーポイントを作 成させ、原稿を考えさせた。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

特定非営利活動法人 すいた環境学習協会

(まち組 もったいない組 そら組 地球組 食育クラブ すいたエコクラフトクラブ)

《成果》

はじめはニュースなどで聞いたことのある言葉から、それに関連する環境問題についての授業を受けることで、知識を広げることができた。また授業の内容から、さらに気になる内容を独自に調べることで、興味関心を持たたと感じる。身近な環境問題から、世界を対象に比較することによって広い視野で環境問題を考えることができた。